

終の住処 笛田東芝珀櫻会 田中 宣子

鎌倉に移り住んで24年。若葉が美しい、ちょうど今頃の季節だった。自然豊かな山あり海あり、数々の歴史を纏った神社仏閣ありのこの地が、私はとても気に入った。もとより、気候温暖、風光明媚、古都鎌倉として天下に名を轟かせているせいか、何方からも「まあ、良いところにお住まいですねエ」と必ず言われる。終の住処は快適だ。

ただ、自転車にもバイクにも車にも縁がない私にとって、市内唯一の移動手段はバスということになるのだが、我が家近くのバスのダイヤは1時間に1本か2本、まったく無い時間帯もある。何という過疎の地と、これには参った。しかし、今となつては慣れもあつてか、しかも時間だけはタップリある。30分や1時間待つことにも寛容になつた。

以前、この会報「みらいふる」の誌面で、女性会員数名と松尾崇市長とが懇談した折、當時、鎌倉人としてはまだ若輩者だった私は恐れも知らず言いたいこと

を言つていた。名立たる観光地の割に道が美しくない、狭い。そぞろ歩きの途中、ちょっと腰をおろせるようなベンチがない。公衆トイレがほとんど見当らない。それもこれがほとんどの見当らない。それも優良ブランドをもつと活用するべきではないか……。もちろん、私のこの小生意氣な意見を聞かずとも、お役所では鎌倉だからこそ出来るること、鎌倉ならではのヒットとなるものは何か等々、さまざまに勘案していらっしゃるに違いない。

今年のNHK大河ドラマは「鎌倉殿の13人」となつたが、まさに舞台は鎌倉。市の観光課では大河ドラマ班の方々が大奮闘。源氏や北条氏関係の展示・講演・イベント・縁の地のガイドと多岐に亘つてPR活動が行われている。今回のこの試みが一つの切っ掛けとなつて、鎌倉の更なるイメージアップ、ひいては、この地に少しでも潤いをもたらしてくれれるよう、こんなに嬉しいことはない。

編集後記

「みらいふる鎌倉」は、2021年には所属クラブ58、総会員数が3818名でしたが、今年はそれぞれ50クラブ、2376名に減少しており、極めて憂慮される状態にあります。

広報誌「みらいふる」は、この98号から新たに(株)博報社関東本社様にご協力を頂き、5月と11月の年2回、各回A4版12ページ(または16ページ)の構成で会の活性化につなげるべく再出発します。

そしてこの98号は会員の皆様に先ず当会の全体像をよくご理解頂くことを編集方針の柱としたので、少々ハード目の構成になりましたが、次号からは皆様にも積極的に「楽しい広報誌づくり」に参加頂きたいと願っています。

P7の「教養部の紹介」をご参考の上、どしどし様々なご寄稿を下さいますよう、編集委員一同お待ち申し上げます。

【編集長 石井 英明】

編集委員会名簿(教養部員兼務)

役割	氏名	所属クラブ(地区)
編集長	石井 英明	鎌倉ロジュマン親和会(玉繩)
副編集長	岡田 修	いちは陽輝会(大船第二)
会計	椎野 幸一	中原クラブ(腰越)
委員	古角 利喜	鎌倉ロジュマン親和会(玉繩)
	山本美枝子	坂ノ下なぎさ会(鎌倉第二)
	田中 宣子	笛田東芝珀櫻会(深沢)
	森田 和夫	琵琶苑シニアクラブ「プラチナα」(深沢)
	鈴木 正誼	山崎第一あかね会(深沢)
担当副会長	武井 正雄	中央和光会(鎌倉第一)

私たちはみらいふる鎌倉の活動を応援しています

全国各地の老人クラブ広報誌を発行して34年
株式会社 博報社関東本社

神奈川県厚木市愛甲1-8-39
☎ (046)280-6001(代)

広告に関する お問い合わせは